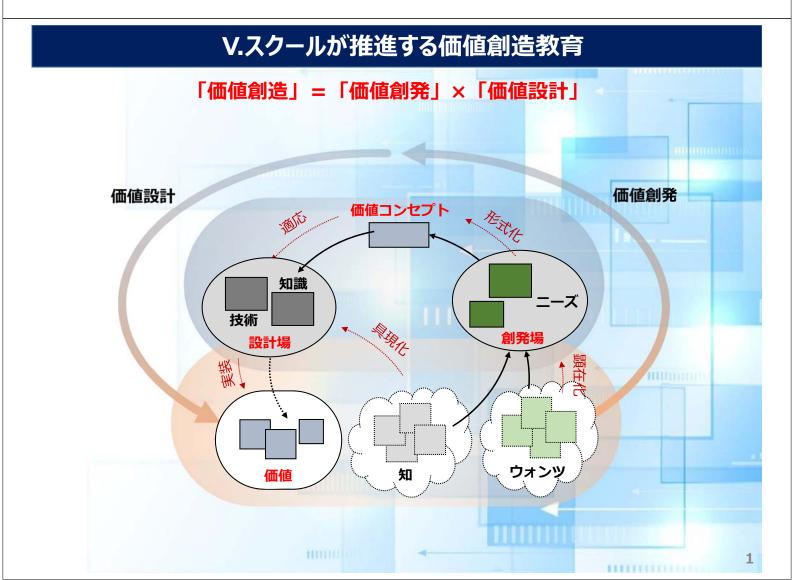




# 神戸大学V.スクール 説明資料

(記者会見補足資料)



# 価値創造=価値創発×価値設計

## 価値創発

価値創発(VE)は、新しい価値が創発され るプロセスを対象とする。

創発とは、さまざまな要素が相互作用を起 こして、事前に意図されていない効果を生み 出すことである。そのためには、多様な情報や ニーズやウォンツを連結する場を創り出し、それ をシステム的に統合して、継続的に更新する 動的なメカニズムが必要になる。V.Schoolは、 そのための最先端の教育・研究プログラムを提 供する。

#### 価値設計

価値設計(VD)は、創発された価値を実現 するためのプロセスを対象とする。

研究・教育を通じて生み出された価値は、社 会の中へ実装されて初めて意味を持つ。そのた めには、価値を実装できるように具体的に設計 するプロセスが必要になる。

V.Schoolは、社会的・国際的ネットワークを 駆使して、価値を設計するためのプロセスを確 立し、研究成果を社会実装することで価値創 造を実現する。



価値創造

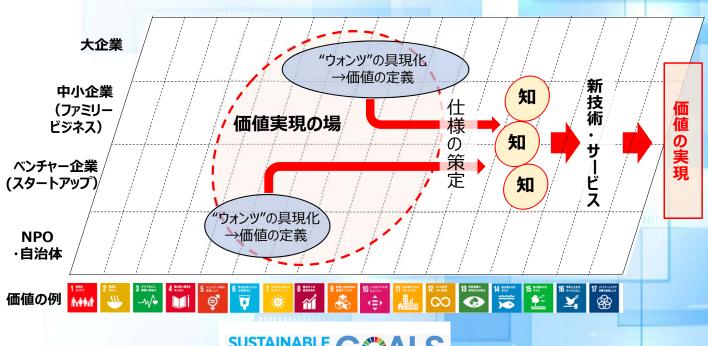
価値創造の対象は段階的に拡充・発展する。

Medical Valueを出発点とし、それをLife Valuesへ拡充し、さらにはSDGsの17の目標と169のター ゲットを包含するSustainable Valuesへの展開を目指す。V.Schoolは、神戸大学が120年近くにわ たって培ってきた「学理と実際の調和」の伝統の下で、多元的・多層的な価値創造を通じて、地球的諸 課題を解決するために先導的かつ公益的役割を担う。

# 組織と連携した価値の社会への実装

ウォンツの探索から課題設定・提供価値の定義など 価値創造戦略の多次元的理解に基づく研究

→ 知の融合 → 実装





...........

# 価値創造研究教育の世界的拠点に

## 国際カンファレンスの実施

## 研究教育

デザイン思考を取り込みつつ, 価値の設計と実装に重点を置いた バリュー(価値)創造研究教育 を推進

## 連携

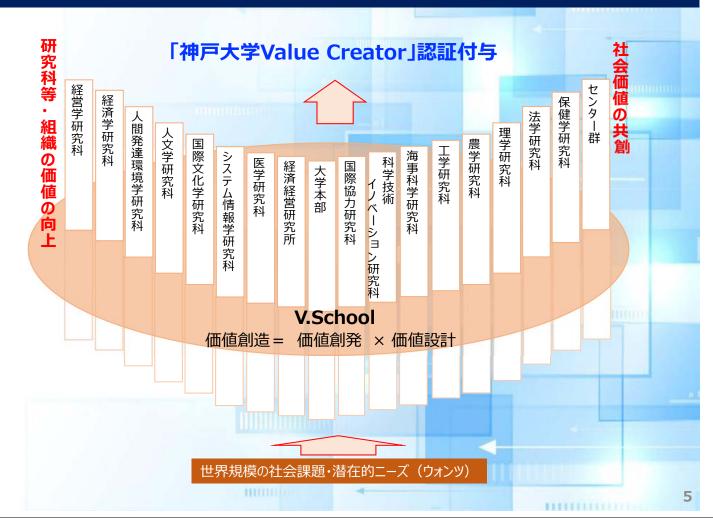
海外の有力大学との アントレプレナーシップ研究と連携

- •コーネル大学(米国)
- •UCサンディエゴ(米国)
- シェフィールド大学(英国)など

価値創造の世界的教育研究拠点を目指す。



# 全学横断的組織と「神戸大学Value Creator」の認証付与



# 企業・NPO・自治体との連携強化による産業社会の活性化

企業・NPO・自治体との連携を重視し、社会を巻き込んだ価値創造活動を推進します。

- ビジネスパーソンのリカレント教育プログラムを提供。
- 神戸大学キャンパスに加えて、大阪サテライト、三宮サテライトを設置

#### V.School関連プロジェクト

## ▼価値創造教育プログラム開発と実施

■知の融合と人材育成

## <未来道場>

- 未来世紀都市学研究ユニットにおけるプロジェクト創出 (課題設定と知の融合)
- EDGE-NEXT (文部科学省次世代アントレプレナー育成事業) 「Creative School」
- 震災レジリエンス人材育成プログラム (東北大学、宮城大学、北海道大学、小樽商科大学との共同開発)
- 国際医療機器開発エキスパートプログラム(AMED・医学部附属病院と連動)

#### ▼国際連携関連

- 国際会議Global Conference for Creating Value Kobe 2019の主催
- UCサンディエゴとのアントレプレナー教育の連携

## ▼企業・自治体・地域との価値共創研究プロジェクト

- キャタピラージャパンとの未来価値創造研究と人材育成(工学研究科IMDコースと連動)
- 神戸市・地域企業群を巻き込んだ低炭素社会の価値創造
- スタートアップエコシステムの形成

• 窓口

• 情報発信

• 共同研究コーディネイト

V.スクールの組織 スクール長 VC Board (方向性の共有と議論) 主要研究科長など 価値設計部門 価値創発部門 STE等学内 学部•研究科 関連組織 • 学部 · 大学院教育提供 役割 役割 1 大学院教育, 学部教育 (1) 社会実装 • 部局の枠を超えた連携 ビジネスパーソン (BP) 教育 • 機能の相乗効果 国際展開 2 2 • 価値創造の連携 複数専攻学位プログラム支援 3 (3) 実践的教育科目の提供 企業、自治体 価値創造研究領域の構築 **(4)** 社会人 他部局との連携促進 • 窓口/営業 価値創造融合の場 ファシリテーターの育成 • コンサルティング • 共同研究コーディネイト • 情報発信 事務部門 価値創造教育 • BP教育提供 教員·職員 学部生 • FD/SDの提供 ①総務②経理③学務④広報 大学院生 • 手挙げによる参画 社会人(リカレント教育) 企業 自治体 海外大学 事務局 コアメンバー 未来道場の

• 連携

配置教員で

提供科目增

6

EXCESSION AND ADDRESS.

活動を包括

科目を想定

